

令和3年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（法学部）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和3年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

出題の意図

政治家と官僚が政策形成過程においてどのような影響力を行使しているのかは、その国の人々の利益の代表や政治的・政策的帰結を大きく左右すると考えられている。本問は、そうした政官関係に関する5本の文献を資料とし、これらの文献から政官関係についてどのように理解を導き出すことができるかを問うている。

評価のポイント

問題文中に明記されているように、受験生個人としての見解を求めているわけではない。採点にあたっては、①文献の内容を正確に理解しているか、②文献間での主張の共通点と相違点を認識し整理できているか、③自身が理解した内容を他者に明確に説明することのできる論理的な記述をしているかの3点に特に重きを置いた。